

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2003年6月27日）
運用方針	外国投資信託証券を中心に投資を行い、グローバルな株式市場（除く、日本）の動きをとらえることを目標に運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 バンガード・グロース・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス） 米国株式 バンガード・バリュース・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス） 米国株式 バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス） 欧州株式 バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス） 新興国株式 ※2019年1月25日より投資対象とする4つの外国投資信託証券のシェアクラスが変更となりました。

当ファンドの運用方法	<p>■日本を除く世界主要国の株式に実質的に投資し、グローバルな株式市場（日本を除く）の動きをとらえることを目標に運用を行います。</p> <p>■主として、バンガードが設定・運用するインデックス型の4つの米ドル建て米国籍外国投資信託証券に投資します。</p> <p>■バンガードの4つのインデックス・ファンドの基本配分比率は、日本を除くグローバルな株式市場の時価総額等を勘案して、概ね以下の比率で投資を行います。</p> <p>バンガード・グロース・インデックス・ファンド…… 約32.5%          バンガード・バリュース・インデックス・ファンド…… 約32.5%          バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド…… 約30.0%          バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド…… 約5.0%          ※時価総額等を勘案して基本配分比率は将来的に見直しを行うことがあります。</p> <p>■原則として、対円での為替ヘッジは行いません。</p>
------------	---

組入制限	<p>■株式への直接投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への投資には、制限を設けません。</p>
------	---

配分方針	<p>■年1回（原則として毎年4月5日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>
------	--

# 三井住友・ バンガード 海外株式ファンド

【運用報告書(全体版)】

(2018年4月6日から2019年4月5日まで)

第 16 期

決算日 2019年4月5日

## 受益者の皆さまへ

当ファンドは外国投資信託証券を中心に投資を行い、グローバルな株式市場（除く、日本）の動きをとらえることを目標に運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

 三井住友DSアセットマネジメント  
 (旧:三井住友アセットマネジメント)  
 〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
 お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976  
 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
12期(2015年4月6日)	20,462	320	21.4	93.8	21,216
13期(2016年4月5日)	18,161	110	△10.7	94.7	18,120
14期(2017年4月5日)	20,175	330	12.9	97.3	19,221
15期(2018年4月5日)	21,739	320	9.3	98.4	19,892
16期(2019年4月5日)	23,394	400	9.5	98.2	21,383

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

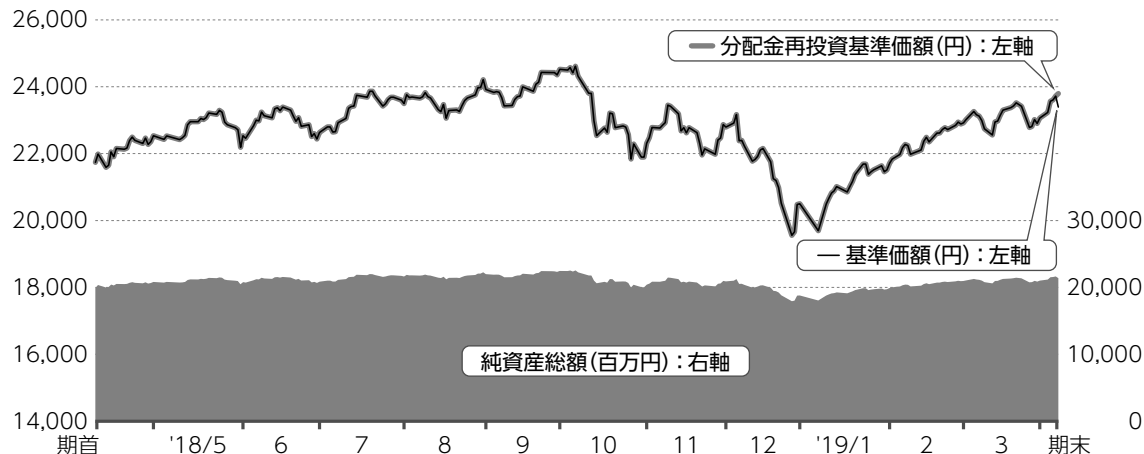
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2018年4月5日	円 21,739	% —	% 98.4
4月末	22,533	3.7	97.7
5月末	22,533	3.7	97.9
6月末	22,632	4.1	97.3
7月末	23,499	8.1	98.6
8月末	23,918	10.0	98.9
9月末	24,522	12.8	98.5
10月末	22,312	2.6	99.1
11月末	22,795	4.9	99.0
12月末	20,504	△ 5.7	97.2
2019年1月末	21,711	△ 0.1	97.5
2月末	22,919	5.4	98.3
3月末	23,064	6.1	96.7
(期末) 2019年4月5日	23,794	9.5	98.2

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2018年4月6日から2019年4月5日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	21,739円
期末	23,794円 (分配金400円(税引前)込み)
騰落率	+9.5% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

[Vanguard] (日本語での「バンガード」を含む)および[tall ship logo]商標は、The Vanguard Group, Inc.が有し、委託会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「三井住友・バンガード海外株式ファンド」は、The Vanguard Group, Inc.およびVanguard Investments Japan Ltdより提供、保証または販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。したがって、The Vanguard Group, Inc.およびVanguard Investments Japan Ltdは三井住友・バンガード海外株式ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

**基準価額の主な変動要因(2018年4月6日から2019年4月5日まで)**

当ファンドは、主として、バンガードが設定・運用するインデックス型の4つの米ドル建て米国籍外国投資信託証券を通じて日本を除く世界主要国の株式に実質的に投資し、グローバルな株式市場(日本を除く)の動きをとらえることを目標に運用を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

**上昇要因**

- 経済指標が示す良好なマクロ環境や企業業績の堅調ぶりから、期初から9月にかけて、米国株式市場が力強く上昇したこと
- 1月以降、F R B (米連邦準備制度理事会)が政策金利の引上げを見合わせ、急速な景気減速が回避されたとして投資家に安心感が広がったことなどを受け、世界的に株式市場が上昇したこと
- 2018年中のF R Bの利上げや、1月以降の投資家のリスク選好の回復を受けて、米ドル高・円安で推移したこと

**下落要因**

- 10月から年末にかけて、中国を発端とする世界的な景気減速懸念を背景に、世界の株式市場が軟調に推移したこと

**組入れファンドの状況**

組入れファンド*	投資資産	期末組入比率
バンガード・グロース・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	米国株式	31.8%
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	米国株式	31.6%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	欧州株式	29.8%
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	新興国株式	5.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※2019年1月25日より組入れファンドのシェアクラスが変更となりました。

投資環境について(2018年4月6日から2019年4月5日まで)

当期の米国株式市場は上昇しました。欧州の株式市場は下落しました。新興国株式市場は下落しました。為替は米ドル高・円安で推移しました。

## 米国株式市場

期初から9月にかけては、米中貿易交渉の動向に一喜一憂しつつも、景気に対する強気な見方や良好な企業決算を受けて、市場は大きく上昇しました。しかし、10月に入ると、下期の中国の経済成長が減速するとの見通しが示され、市場はリスク回避的となり、株価が大きく下落しました。その後も神経質な値動きのなか、12月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で利上げの実施とバランスシートの縮小継続が示されたことが嫌気され、再度大きく下落しました。

1月に入ると、FRBが金利の引上げに慎重な姿勢を見せたことが好感され、市場は反発しました。その後は米中貿易交渉進展への期待などを背景に、期末まで概ね堅調に推移しました。

当期の市場の動きをCRSP USラージ・キャップ・グロス・インデックスで見ると、期首に比べて13.8%上昇しました。CRSP USラージ・キャップ・バリュー・インデックスは8.3%上昇しました。

## 欧州株式市場

期初より、欧州企業が米中貿易摩擦の悪影響を受けたことや、イタリアの政治的不透明感が頭を押さえたことから、堅調な米国市場とECB(欧州中央銀行)の緩和的な姿勢にもかかわらず、欧州株式市場はじり安基調で推移しました。10月に中国の景気減速懸念が表面化すると、中国と経済的結びつきの強い欧州に対しても懸念が高まり、欧州株式市場は急落しました。

その後も、イタリアのポピュリズム(大衆迎合主義的)新政権とEUの財政規律を巡る対立や、英国のEU離脱問題の先行き不透明感から年末まで軟調な推移となりました。1月以降は、FRBの利上げに対する警戒感の後退や、英国が合意なき離脱を回避できそうなこと、中国の景気刺激策、米中貿易交渉への進展期待から、株価は反発しました。

当期の市場の動きをFTSE欧州先進国オールキャップ・インデックス(米ドルベース)で見ると、期首に比べて1.0%下落しました。

## 新興国株式市場

F R Bが利上げを続ける中、米ドルに対する新興国通貨の下落から新興国市場は期首から軟調に推移しました。さらに6月以降は、アルゼンチンやトルコなどの経常赤字が大きい国々の通貨が売り込まれたことや、米中貿易紛争の激化懸念から、リスク回避的となった投資家に新興国市場は嫌気され、10月まで株価は加速度的に下落しました。

11月に入ると、他市場と比べ割安感のある新興国市場は一部買い戻されましたが、世界的な景気減速懸念が頭を押さえました。1月以降は、F R Bの利上げに対する警戒感が後退したことや、中国の景気刺激策、及び米中貿易交渉進展への期待などから、新興国市場も反発し、期末まで上昇基調で推移しました。

当期の市場の動きをF T S E エマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(米ドルベース)で見ると、

期首に比べて3.5%下落しました。

## 為替市場

期首から11月にかけては、利上げを行い金融引締めに取り組む米国と、マイナス金利を続ける日本の金融政策の方向性の違いから、米ドル高・円安が進みました。しかし、12月に入ると、米国の利上げは景気の減速見込みに対して過度だと捉えられるようになり、米ドルが急落しました。

1月以降はF R Bが利上げに慎重姿勢を示したことを受け、投資家のリスク選好が回復したことから、再び米ドル高・円安に推移しました。期末にかけては、米欧などの軟調な経済指標からリスク回避的な傾向が高まる局面もあり、ボラティル(変動の激しい)な展開となりました。

当期の米ドル・円は、期首の106円83銭から期末111円81銭と、4円98銭の米ドル高・円安となりました。

## ポートフォリオについて(2018年4月6日から2019年4月5日まで)

### 当ファンド

運用の基本方針に基づきグローバルな株式市場(除く日本)の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿って下記の4つの投資信託に資産配分を行いました。

追加設定や一部解約に伴う入出金がある場合は、保有現金残高などを考慮した上で売買

を行い、組入比率の調整を行いました。

### バンガード・グロース・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)

米国成長株のインデックスであるC R S P U S ラージ・キャップ・グロース・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパ

パフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

---

### バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)

米国割安株のインデックスであるCRSP US ラージ・キャップ・バリュー・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

---

### バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)

FTSE 欧州先進国オールキャップ・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

※CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックス、CRSP US ラージ・キャップ・バリュー・インデックス、FTSE 欧州先進国オールキャップ・インデックスおよびFTSE エマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### ベンチマークとの差異について(2018年4月6日から2019年4月5日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

---

### バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)

FTSE エマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

## 分配金について(2018年4月6日から2019年4月5日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第16期
当期分配金	400
(対基準価額比率)	(1.681%)
当期の収益	400
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	15,431

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

当期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、400円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

運用の基本方針に基づき、グローバルな株式市場(除く日本)の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿って4つの投資信託に資産配分を行います。

バンガード・グロース・インデックス・ファンド  
 バンガード・バリュー・インデックス・ファンド  
 バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド  
 バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド  
 (アドミラル・シェアクラス)

各ファンドとも、ベンチマークとするインデックスのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行います。



## 3 お知らせ

### 合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

### 約款変更について

- 一般社団法人投資信託協会規則の「信用リスク集中回避のための投資制限」に適合するよう、所要の変更を行いました。(適用日：2018年7月3日)
- 委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2019年4月1日)

### 投資対象とする外国投資信託のシェアクラス変更について

#### 1. 投資対象とする外国投資信託のシェアクラスの変更

当ファンドが投資対象とする4つの外国投資信託のシェアクラスがインベスター・シェアクラスから、より管理費用(エクスペンス・レシオ)が低いアドミラル・シェアクラスへ変更となりました。

なお、各外国投資信託の運用の基本方針、運用体制等につきましては一切変更ありません。

(適用日：2019年1月25日)

当ファンドが投資対象とする外国投資信託の管理費用(エクスペンス・レシオ)

投資対象とする外国投資信託	基本 配分比率	変更前	変更後
		インベスター・ シェアクラス	アドミラル・ シェアクラス
バンガード・グロース・インデックス・ファンド	32.5%	年0.17%	年0.05%
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド	32.5%	年0.17%	年0.05%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	30.0%	年0.26%	年0.10%
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	5.0%	年0.32%	年0.14%

※外国投資信託の管理費用は変動します。したがって、上記の変更後の管理費用の比率は固定のものではなく目途としての数値です。

2. 当ファンドの運用管理費用(信託報酬)について

上記のシェアクラス変更により、受益者の皆さまが当ファンド保有期間中に信託財産で間接的にご負担いただく運用管理費用(信託報酬)は、下表程度に軽減される見込みです。なお、これらの費用は1日当たりの金額が日々信託財産から差し引かれ基準価額に反映されています。下表に示した費用は1年間保有した場合の数値であり、シェアクラス変更による差分が直ちに基準価額に反映されるわけではありません。

保有期間中に信託財産で間接的にご負担いただく運用管理費用(信託報酬)

運用管理費用(信託報酬)	シェアクラス変更前 (インベスター・シェアクラス)	シェアクラス変更後 (アドミラル・シェアクラス)
①当ファンドの信託報酬	当ファンドの純資産総額に対し、年1.08% (税抜き1.0%)	当ファンドの純資産総額に対し、年1.08% (税抜き1.0%)
②「投資対象とする投資信託」の運用管理費用	年0.205%	年0.07%
【実質的な負担】(①+②)	当ファンドの純資産総額に対して、 年1.285% (税抜き1.205%)程度	当ファンドの純資産総額に対して、 年1.15% (税抜き1.07%)程度

※運用管理費用は各外国投資信託の基本配分比率で加重平均したもので、変動します。

## 三井住友・バンガード海外株式ファンド

### ■ 1万口当たりの費用明細(2018年4月6日から2019年4月5日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	246円 (85) (151) (10)	1.080% (0.373) (0.664) (0.043)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	1 (0) (1) (0)	0.006 (0.000) (0.005) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	247	1.086	

期中の平均基準価額は22,745円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「組入れ投資信託証券の内容」をご覧ください。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況(2018年4月6日から2019年4月5日まで)

#### 投資信託証券

		買付		売付		
		口数	買付額	口数	売付額	
外	アメリカ	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	115,882	3,530 千ドル	(1,925,867)	(59,784)
		バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	73,181	1,950	(346,010)	(9,995)
		バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	2,767 (827,053)	180 (59,784)	—	—
		バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ ファンド(アドミラル・シェアクラス)	1,161 (263,558)	40 (9,995)	—	—
		バンガード・バリュース・インデックス・ファンド	21,499	890	75,222 (1,413,807)	3,120 (57,103)
		バンガード・グロース・インデックス・ファンド	—	—	43,938 (775,421)	3,540 (56,551)
		バンガード・グロース・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	5,963 (775,527)	450 (56,551)	39,555	3,170
国		バンガード・バリュース・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	4,391 (1,414,159)	180 (57,103)	—	—
		小計	224,848 (3,280,299)	7,220 (183,435)	158,716 (4,461,107)	9,830 (183,435)

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■ 組入れ資産の明細 (2019年4月5日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期 末		組入比率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	□	□	千米ドル	千円	%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	1,809,984	—	—	—	—
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	272,829	—	—	—	—
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	—	829,821	56,983	6,371,366	29.8
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	—	264,719	9,543	1,067,019	5.0
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド	1,467,530	—	—	—	—
バンガード・グロース・インデックス・ファンド	819,359	—	—	—	—
バンガード・グロース・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	—	741,935	60,823	6,800,715	31.8
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	—	1,418,550	60,373	6,750,363	31.6
合 計	4,369,704	3,255,027	187,724	20,989,465	98.2

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 投資信託財産の構成

(2019年4月5日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 20,989,465	% 95.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	909,882	4.2
投 資 信 託 財 産 総 額	21,899,347	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産(21,249,981千円)の投資信託財産総額(21,899,347千円)に対する比率は97.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=111.81円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年4月5日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	21,899,347,489円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	909,882,311
投資信託受益証券(評価額)	20,989,465,178
(B) 負 債	515,523,518
未 払 収 益 分 配 金	365,625,352
未 払 解 約 金	39,518,859
未 払 信 託 報 酬	109,819,905
そ の 他 未 払 費 用	559,402
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	21,383,823,971
元 本	9,140,633,804
次 期 繰 越 損 益 金	12,243,190,167
(D) 受 益 権 総 口 数	9,140,633,804口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	23,394円

※当期における期首元本額9,150,968,840円、期中追加設定元本額765,322,526円、期中一部解約元本額775,657,562円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2018年4月6日 至2019年4月5日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	416,127,805円
受 取 配 当 金	438,528,047
支 払 利 息	△ 22,400,242
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,626,466,992
売 買 損 益	2,049,922,884
売 買 損 益	△ 423,455,892
(C) 信 託 報 酬 等	△ 226,965,592
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,815,629,205
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	5,468,483,239
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,324,703,075
( 配 当 等 相 当 額 )	( 7,186,931,478)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 1,862,228,403)
(G) 計 (D + E + F)	12,608,815,519
(H) 収 益 分 配 金	△ 365,625,352
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	12,243,190,167
追 加 信 託 差 損 益 金	5,324,703,075
( 配 当 等 相 当 額 )	( 7,186,931,478)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 1,862,228,403)
分 配 準 備 積 立 金	6,918,487,092

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(369,894,914円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(1,445,734,291円)、信託約款に規定される収益調整金(7,186,931,478円)および分配準備積立金(5,468,483,239円)より分配可能額は14,471,043,922円(1万口当たり15,831円)となり、うち365,625,352円(1万口当たり400円(税引前))を分配金額としております。

## ■ 分配金のお知らせ

	当 期
1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	400円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## ■ 組入れ投資信託証券の内容

## ● 投資方針等

ファンド名	バンガード・グロース・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)
運用目標/投資対象	パッシブ運用 (インデックス運用) され、米国成長株のインデックスである CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。</li> <li>一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。</li> </ul>
決算日	毎年12月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回 (3月、6月、9月、12月) 分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用 (エクスペンス・レシオ)*	0.05%
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

ファンド名	バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)
運用目標/投資対象	パッシブ運用 (インデックス運用) され、米国割安株のインデックスである CRSP US ラージ・キャップ・バリュー・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	CRSP US ラージ・キャップ・バリュー・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。</li> <li>一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。</li> </ul>
決算日	毎年12月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回 (3月、6月、9月、12月) 分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用 (エクスペンス・レシオ)	0.05%
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

\*管理費用 (エクスペンス・レシオ) とはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で除したもので、本書の数値はバンガードが2018年の目論見書で開示したものです (以下同じ。)

### 三井住友・バンガード海外株式ファンド

ファンド名	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス）
運用目標／投資対象	パッシブ運用（インデックス運用）され、FTSE 欧州先進国オールキャップ・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	FTSE 欧州先進国オールキャップ・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。</li> <li>一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。</li> <li>為替市場の変動による影響を避けるため、対米ドルでの為替ヘッジを行う場合があります。</li> </ul>
決算日	毎年10月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用 (エクスペンス・レシオ)	0.10%
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

ファンド名	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス）
運用目標／投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>パッシブ運用（インデックス運用）され、FTSE エマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。</li> <li>通常概ねすべて（最低でも95%）の資産を、インデックスを構成する株式銘柄に投資します。</li> </ul>
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式のうち、代表的な銘柄を保有します。
ベンチマーク	FTSE エマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。</li> <li>一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。</li> <li>為替市場の変動による影響を避けるため、対米ドルでの為替ヘッジを行う場合があります。</li> </ul>
決算日	毎年10月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用 (エクスペンス・レシオ)	0.14%
その他手数料	既存投資者の資産保護のために必要であるとバンガードが判断したとき、購入資金および売却資金から、財産維持手数料が直接支払われる場合があります。2017年10月31日現在、当該財産維持手数料はかかっておりません。
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

※CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックスおよびCRSP US ラージ・キャップ・バリュエーション・インデックスはシカゴ大学証券価格調査センター（CRSP）、FTSE 欧州先進国オールキャップ・インデックスおよびFTSE エマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックスはFTSE インターナショナル・リミテッドが、それぞれ公表している指数で各社の知的財産です。

※指数を公表する各社は当ファンドの運用と何ら関係ありません。

※ベンチマークは一般的に同じ市場を測定する他のインデックスに変更される可能性があります。

以下の情報は投資対象とする外国投資信託証券のシェアクラス変更前のものです。

## ●直近決算概要

### バンガード・グロス・インデックス・ファンド

(計算期間：2018年1月1日～2018年12月31日)

#### 基準価額（米ドル建て）の推移



※期中の分配金は含みません。

#### 基準価額（円建て）の推移



※期中の分配金は含みません。

※外貨建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

#### 組入上位10銘柄

(基準日：2018年12月31日)

銘柄名	業種	組入比率
Apple Inc.	コンピュータ・ハードウェア	6.4%
Amazon.com Inc.	大規模小売店	5.9%
Microsoft Corp.	ソフトウェア	3.7%
Facebook Inc. Class A	インターネット	3.0%
Alphabet Inc. Class A	インターネット	3.0%
Alphabet Inc. Class C	インターネット	2.9%
Visa Inc. Class A	消費者金融	2.2%
Home Depot Inc.	家・リフォーム製品売	1.8%
Boeing Co.	航空宇宙	1.7%
Mastercard Inc. Class A	消費者金融	1.6%
全銘柄数	311銘柄	

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。  
※組入比率は純資産総額に対する割合です。

#### 費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.17%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。  
※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

#### 組入上位5業種

(基準日：2018年12月31日)

業種	組入比率
テクノロジー	30.0%
消費者サービス	20.6%
資本財	14.1%
金融	12.7%
ヘルスケア	11.6%

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。  
※組入比率はポートフォリオに対する割合です。



## バンガード・バリュー・インデックス・ファンド

(計算期間：2018年1月1日～2018年12月31日)

## 基準価額（米ドル建て）の推移



※期中の分配金は含みません。

## 基準価額（円建て）の推移



※期中の分配金は含みません。

※外貨建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

## 組入上位10銘柄

(基準日：2018年12月31日)

銘柄名	業種	組入比率
Berkshire Hathaway Inc. Class B	再保険	3.6%
Microsoft Corp.	ソフトウェア	3.5%
Johnson & Johnson	医薬	3.1%
JPMorgan Chase & Co.	銀行	2.9%
Exxon Mobil Corp.	総合石油・ガス	2.6%
Pfizer Inc.	医薬	2.3%
UnitedHealth Group Inc.	ヘルスケア/バイダー	2.1%
Verizon Communications Inc.	固定通信	2.1%
Procter & Gamble Co.	家庭日用雑貨	2.0%
Bank of America Corp.	銀行	1.9%
全銘柄数		343銘柄

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。  
 ※組入比率は純資産総額に対する割合です。

## 費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.17%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。  
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 組入上位5業種

(基準日：2018年12月31日)

業種	組入比率
金融	23.5%
ヘルスケア	16.6%
テクノロジー	11.7%
消費財	10.0%
資本財	10.0%

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。  
 ※組入比率はポートフォリオに対する割合です。

## バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

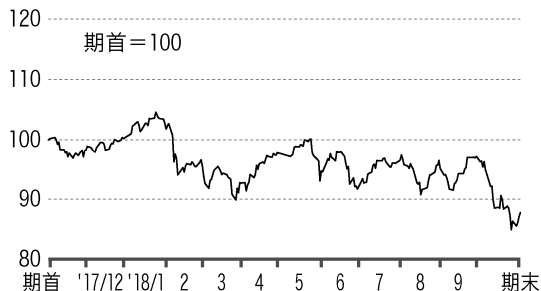
(計算期間：2017年11月1日～2018年10月31日)

### 基準価額（米ドル建て）の推移



※期中の分配金は含みません。

### 基準価額（円建て）の推移



※期中の分配金は含みません。

※外貨建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

### 組入上位10銘柄

(基準日：2018年10月31日)

銘柄名	業種	組入比率
Royal Dutch Shell plc	総合石油・ガス	2.8%
Nestle SA	加工食品	2.7%
Novartis AG	医薬	2.0%
Roche Holding AG	医薬	1.8%
HSBC Holdings plc	銀行	1.7%
TOTAL SA	総合石油・ガス	1.6%
BP plc	総合石油・ガス	1.5%
Unilever	トイレット用品	1.4%
SAP SE	ソフトウェア	1.1%
British American Tobacco plc	タバコ	1.0%
全銘柄数	1,351銘柄	

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。  
 ※組入比率は純資産総額に対する割合です。

### 費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.23%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。  
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

### 組入上位5業種

(基準日：2018年10月31日)

業種	組入比率
金融	21.7%
消費財	17.5%
資本財	14.6%
ヘルスケア	13.1%
石油・ガス	8.2%

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。  
 ※組入比率はポートフォリオに対する割合です。

## バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (計算期間：2017年11月1日～2018年10月31日)

### 基準価額（米ドル建て）の推移



※期中の分配金は含みません。

### 基準価額（円建て）の推移



※期中の分配金は含みません。

※外貨建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

### 組入上位10銘柄

(基準日：2018年10月31日)

銘柄名	業種	組入比率
Tencent Holdings Ltd.	インターネット	4.1%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	半導体	3.8%
Alibaba Group Holding Ltd.	特殊消費者サービス	3.1%
Naspers Ltd.	遊・エンターテイン	1.5%
China Construction Bank Corp.	銀行	1.5%
Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	銀行	1.2%
Petroleo Brasileiro SA	総合石油・ガス	1.2%
Vale SA	鉄・鉄鋼	1.1%
Baidu Inc.	インターネット	1.1%
Ping An Insurance Group Co. of China Ltd.	生命保険	1.1%
全銘柄数		4,644銘柄

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。  
※組入比率は純資産総額に対する割合です。

### 費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.29%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。  
※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

### 組入上位5業種

(基準日：2018年10月31日)

業種	組入比率
金融	28.6%
テクノロジー	15.0%
消費者サービス	11.2%
資本財	9.7%
石油・ガス	8.6%

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。  
※組入比率はポートフォリオに対する割合です。